

定例記者会見資料



○日 時	平成24年7月11日（水） 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<p>【全キャンパス共通】</p> <ul style="list-style-type: none">・海外研修の実施について…………… 【資料1】・メールシステムへの不正アクセスについて…………… 【資料2】
○資料提供 項目	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・蔚山大学校日本語・日本文化研修 成果発表会公開ディベートについて…………… 【資料3】 <p>【浜田キャンパス・出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・本学教授2名が英語特殊辞典を刊行…………… 【資料4】 <p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・陸前高田図書館再建支援のための古書収集の協力依頼…………… 【資料5】
○行事予定	

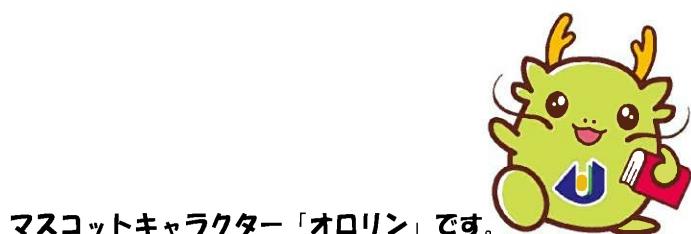
※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。

なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200

出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200

松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525



平成 24 年 7 月 11 日

島根県立大学 浜田キャンパス

教務学生課 岩本、上田

〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2

(TEL) 0855-24-2213 (FAX) 0855-23-7352

海外研修の実施について

1 目的

外国语運用能力の向上を図るとともに、研修国の社会・文化・歴史等を理解することにより学生の国際感覚を涵養し、国際人としての自己認識を深化させることを目的として実施するもので、本学カリキュラムの中で重要な科目のひとつです。

2 概要

今年度も、8月の夏季休業期間を利用して、アメリカ、中国、韓国、ロシアの4か国で実施し、語学学習、社会・文化学習、地域市民との交流などに参加します。

キャンパス	研修先	所在地	期間	参加人数	経費	奨学金	
						大学独自	日本学生支援機構
						H24 (H23)	H24 (H23)
浜田	モントレ国際大学	米国・カリフォルニア州	8/4~9/3	39 (34)	56万円	10万円 (10万円)	0円 (8万円)
	北京外国語大学	中国・北京市	8/3~8/31	26 (38)	17万円	3万円 (3万円)	0円 (8万円)
	蔚山大学校	韓国・蔚山広域市	8/5~8/28	22 (33)	18万円	3万円 (3万円)	8万円 (8万円)
	ロシア海洋国立大学	ロシア・ウラジオストク	8/1~8/25	4 (7)	23万円	5万円 (5万円)	0円 (8万円)
出雲	シアトル大学	米国・ワシントン州	8/21~9/1	19 (18)	37万円	7万円 (7万円)	0円 (0円)
	ワシバーレカレッジ	米国・ワシントン州					
松江	セントラルワシントン大学	米国・ワシントン州	8/7~8/21	25 (20)	35万円	7万円 (7万円)	0円 (0円)
	中国、韓国	中国・北京市 韓国・ソウル	8/31~9/7	19 (0)*	13万円	3万円 (3万円)	0円 (0円)
合計				154 (150)			

※松江キャンパスの中国・韓国研修は、隔年開催のため、昨年度の実績なし。

3 その他

◇平成 22 年度から、より多くの学生が参加できるよう、研修に参加する学生全員に研修費用の一部を助成する制度を始めました。

平成 24 年 7 月 11 日
島根県立大学浜田キャンパス
図書情報課
担当 森本
電話 0855-24-2204

メールシステムへの不正アクセスについて

1 状況

(1) 発見日時

7月3日（火）午後

(2) 発見者

島根県立大学浜田キャンパスメディアセンター職員

(3) 発見の経緯

本学メールシステムの、浜田キャンパスメディアセンター代表メールアドレス
`media@admin.u-shimane.ac.jp`（学外からの浜田キャンパスメディアセンターへの問い合わせ、連絡の受付、メディアセンターから利用者への連絡に使用）の送信メールフォルダを見ていたところ、本学から発信したものではないメールを発見した。

(4) 最初に発見されたメール送信の状況

ア 7月3日（火）午前9時41分から午前10時04分の間に7回（7月4日発表は4回）送信。

(5) 調査結果

ア 原因は、現在のメールシステムを導入した平成19年6月に設定した、浜田キャンパスメディアセンター代表メールアドレス、松江キャンパス図書館代表メールアドレスのID及びパスワードが、容易に類推、解読し易いものであった。

イ 浜田キャンパスメディアセンター代表メールアドレスから、3月4日（日）午前5時44分から6月21日（木）午前8時40分の間に、15回（7月4日発表は7回）のメール送信を確認。

ウ 松江キャンパス図書館代表メールアドレス `library@matsue.u-shimane.ac.jp` から6月20日（水）午後4時41分から6月23日（土）午前4時29分の間に3回（7月4日発表は2回）のメール送信を確認。

- エ 7月9日に「迷惑メールと見なされる本文がある。」「多数の相手先に一斉に送信しようとする。」等の迷惑メールの特徴を有するメールに対しては、メールシステムの迷惑メール遮断機能が働き、7月3日の7件のメール送信のうち6件が遮断されていることを確認。
- オ 7月11日に、新たに交流研究課が使用しているメールアドレスへの不正アクセスがわかったが、メール送信は行われていないことを確認。
- カ 現時点では、メールシステム上でメール本体、個人アドレス帳のアドレス、アドレス帳のアドレス、その他の個人情報が参照された形跡は見つかっていない。

2 対応

(1) 対応済

- ア 再度、不正にアクセスされないよう、浜田キャンパスメディアセンター代表メールアドレス、松江キャンパス図書館代表メールアドレス、さらに学内全ての代表メールアドレスのパスワードを変更した。
- イ 不正アクセスしたものとみられる IP アドレスからの全ての接続を遮断する。

(2) 今後の対応

- ア メールシステムの更新に併せて、セキュリティを一層強化する。
- イ パスワードの定期的な変更を徹底する。
- ウ アクセス権限の見直しを実施し、アクセス記録を長期保存する。

平成 24 年 7 月 11 日

記者発表資料

交流研究課

平成 24 年度 蔚山大学校日本語・日本文化研修 成果発表会 公開ディベートについて

本年度も蔚山大学校の研修生は 6 月 7 日から約 5 週間にわたり、日本語・日本文化研修を行いました。

研修の成果発表として、下記のとおり研修生による日本語での公開ディベートを行います。

どなたでもご参加いただけますので、研修の成果をぜひ見に来てください。

記

日時：平成 24 年 7 月 13 日（金） 10：50～

場所：大演習室 2

内容：3 チームにわかれ、それぞれが設定したテーマについて賛成、反対に分かれてディベートを行います。

- ・ 時 間 各グループ（20 分）
- ・ テーマ 構内全面禁煙、国際結婚、学力別クラス編成
- ・ 司 会 島根県立大学 ディベート部

平成24年7月11日

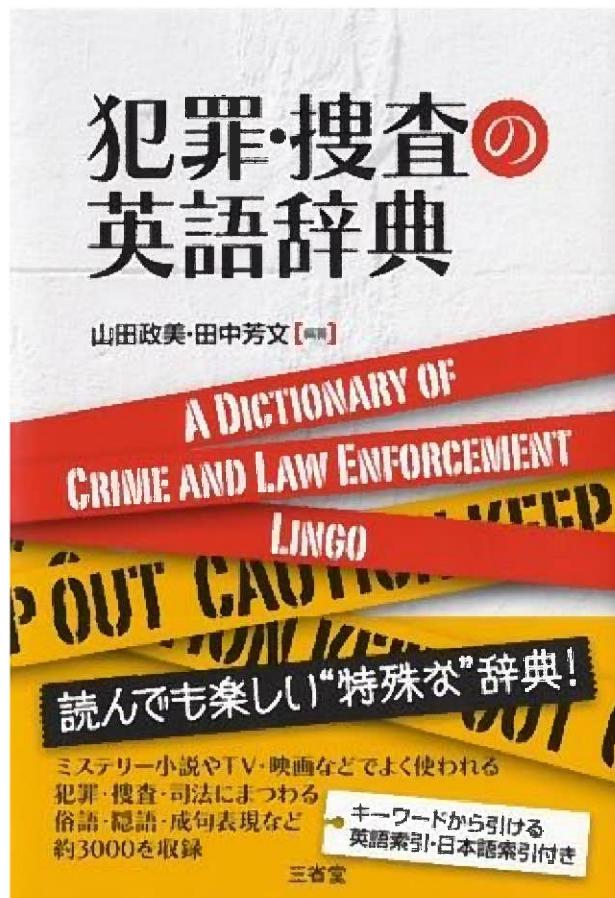
島根県立大学

総務課 宮戸、澤井

TEL : 0855-24-2200 (代表)

本学教授2名が英語特殊辞典を刊行

昨年の『英和ブランド辞典』（研究社）に続き、山田政美本学名誉教授（島根大学名誉教授）と田中芳文教授（出雲キャンパス）による『犯罪・捜査の英語辞典』（三省堂）が出版されました。



【お問い合わせ先】

島根県立大学（出雲キャンパス） 教授 田中芳文

電話：0853-20-0200 (代表)

陸前高田市にみんなで図書館をつくろう。



陸前高田市図書館ゆめプロジェクトとは？

ご家庭や会社で不要になった本で、陸前高田市の図書館を復興する手助けができます。

東日本大震災の大津波により壊滅的な被害を受けた陸前高田市では、多くの公共施設と同様に図書館も、大きな被害をうけました。当プロジェクトでは、皆様が読み終えた書籍を株式会社バリューブックスにより査定を行い、その買取金額相当を図書館再建として役立てられます。



図書館の様子



読めなくなってしまった本



移動図書館 やまびこ号

現在、移動図書館車や仮設図書館を運営していますが、市民、そして子どもたちが本に親しめる場が少なくなっているのが現状です。図書館は子ども、大人が集えるコミュニティースペースとしての役割だけではなく「本を読む」ことで人の心を豊かにしてくれる場所でもあります。

陸前高田市の図書館復興のために、あなたの読み終えた書籍をお送りください。

岩手県 陸前高田市

陸前高田市は、岩手県南東部の太平洋側に位置しています。

2011年3月11日の津波により、市全域にわたって甚大な被害を受けました。

現在、全国各地からの温かいご助力をいただきながら、図書館等、被害を受けた公共施設の再建に向けた取り組みを進めていますが、市街地の大半が被害を受けているため、寄贈図書の仮収蔵スペース等、暫定的な用地の確保もままならない状態です。「陸前高田市立図書館図書購入基金」は、将来における図書館再建と子どもをはじめとした読書活動の推進に向けた大きな礎になると想え、設立しました。

陸前高田市の「これからの図書館づくり」を応援いただければ幸いです。



申し込み方法は裏面をご覧ください。

陸前高田市図書館夢プロジェクト申し込み方法

★方法その1 おはなしレストランライブラリーに本を持参していただく

1冊からでもけっこうです。
あとはライブラリーで責任をもってお送りします。

注意！ 以下の本は取り扱えませんので、ご注意ください。

下記 ISBN のない本、百科事典、コンビニコミック、個人出版の本、
マンガ雑誌、一般雑誌は取り扱いできません。



ISBN978-4-1234-5678-9

9 8 7 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

★方法その2 個人で行なう

① 不要になった書籍をダンボールにつめます。

添付の申込書にご記入の上、本と一緒に入れます。

※ダンボールが複数になる場合でも、申込用紙は1枚で大丈夫です。

※古本は5冊から、着払いで受け付けます。

※18歳未満の方は、保護者の方にお願いしてお申し込みください。

② 株式会社バリューブックス 0120-826-295に電話。

「陸前高田市図書館ゆめプロジェクトに申し込みたいのですが…」と、伝えてください。



電話受付時間

月～土 10:00～19:00

日 10:00～17:00

宅配業者がご指定の時間に引き取りにうかがいます。

※ヤマト運輸の集荷を手配します。

※古本は5冊から、着払いで受け付けます。

③ 株式会社バリューブックスにて、買い取られます。

買い取り金額は、陸前高田市図書館基金に寄付されます。

④ 陸前高田市図書館基金にて図書館再建に活用させていただきます。

陸前高田市図書館ゆめプロジェクト

「陸前高田市図書館ゆめプロジェクト」へのご参加、ありがとうございます。

当プロジェクトは、みなさんから本を寄贈していただき、その売却代金をご寄付として、
陸前高田市の図書館復興に役立てるものです。

お手数ですが、下記「贈与等承諾書」をお読みの上、

ご同意いただけましたら、署名欄にサインをお願いいたします。

贈与承諾書

- 私は、私が所有する本を、株式会社バリューブックスに売り渡し又は引き渡し、その売却代金を陸前高田市に寄付することを了承します。なお、私は、陸前高田市に本件物品を贈与することが目的ではなく、陸前高田市が本件物品の売却代金相当を受領することをもって、寄付行為とするものであることを確認します。
- 私は、理由を問わず、本件物品の返還、買い取り相当額の支払いを株式会社バリューブックスおよび陸前高田市に請求しません。
- 私は、陸前高田市および株式会社バリューブックスが、本書に記載された私の氏名等の個人情報を、本プログラムの目的にのみ使用することを了承します。

ご署名	年 月 日	性別	送付段ボール総数
ふりがな			
ご署名		男・女	個

「陸前高田市図書館ゆめプロジェクト」のご報告をさせていただきますので、以下にご記入ください。

ご住所	〒		
電話	生年月日	西暦	年 月 日
E-mail			
<input type="checkbox"/> 案内等を希望しない <input type="checkbox"/> 領収書を希望する			
陸前高田市への応援メッセージがあればご自由にご記入ください。 <small>※記入された応援メッセージは匿名の上、陸前高田市関連サイトの他、市の刊行物に使用させていただく場合があります。</small>			団体ID 44